

見直しましょう！ 内部不正対策

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が示す中小企業等の課題

- ① 内部不正防止が「**重要な経営課題**」として認識されていない
- ② 守るべき**情報資産を特定**できていない
- ③ **内部不正対策は後手**に回っている



重要！

内部不正対策チェックポイント

- 内部不正の対策が経営者の責任であることを組織内外に示す「基本方針」を策定し、役職員に周知徹底しましょう。
- 組織内における内部不正対策の体制を確立しましょう。
- 守るべき情報資産を明確に定義し、取り扱い可能な内部者の範囲を定めましょう。
- 異動又は退職により不要となった利用者ID及びアクセス権を直ちに削除しましょう。
- 情報セキュリティに関するリテラシーを向上させるための教養等を行い、教養内容を定期的に見直しましょう。
- 業務量及び労働時間の適正化等の適切な労働環境を整備しましょう。
- 個人のモバイル機器及び記録媒体の業務利用や持ち込みを制限しましょう。



※ 独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）内部不正チェックシートから一部抜粋

上記チェック項目を確認し、サイバーセキュリティ対策と並行して内部不正対策についても実施しましょう！

その他、内部不正を防止するための対策については、独立行政法人 情報処理推進機構「組織における内部不正防止ガイドライン」をご参照ください。

URL：<https://www.ipa.go.jp/security/guide/insider.html>

◆ 福岡県警察本部サイバー犯罪対策課では、最新のサイバー犯罪の手口や対策などを、ホームページやX（旧Twitter）に掲載していますのでぜひご覧ください。

◆ 万一、被害に遭われた場合は、管轄警察署宛てご一報ください。

[X]



[HP]

